

ほけんざり7月

令和2年7月1日 香取市立東大戸小学校 養護教諭

気温の変化が大きく、体調を崩すお子さんもみられます。熱中症の心配がある場合はすぐに休ませ、保健室に常備してあるポカリスエット等を飲んだり体を冷やしたりして、教室に復帰できるようにしています。

マスクをしているとのが渴きにくいと言われています。今年の夏はこれまで以上に熱中症には十分注意しましょう。



がつ ほ けん もくひょう 7月の保健目標

なつ けんこう 「夏を健康にすごそう」

前PTA副会長さんより

子ども用の手作りマスク(全児童分122個)
いただきました。ありがとうございます。
本日配付します。



7/1からの学校生活について

香取健康福祉センターによる
研修会内容をもとに、職員で
話し合いを行いました。

香取市では現在感染が落ち着いている状況であるとのことで、7/1からは以下のように対応します。なお、感染状況によって今後対応が変更することもあります。

- ①遊具の使用について 全ての遊具を制限なく使用可とします。(使用後は手洗い)
- ②人との距離がとれて、話をしないときはマスクをはずす
児童も職員も話をしない時は、熱中症予防のためにマスクを外して過ごします。
- ③牛乳パックリサイクルの作業

現在、1～4年は職員が補助して行っていますが、徐々に自分で行います。(実施後は手洗い)

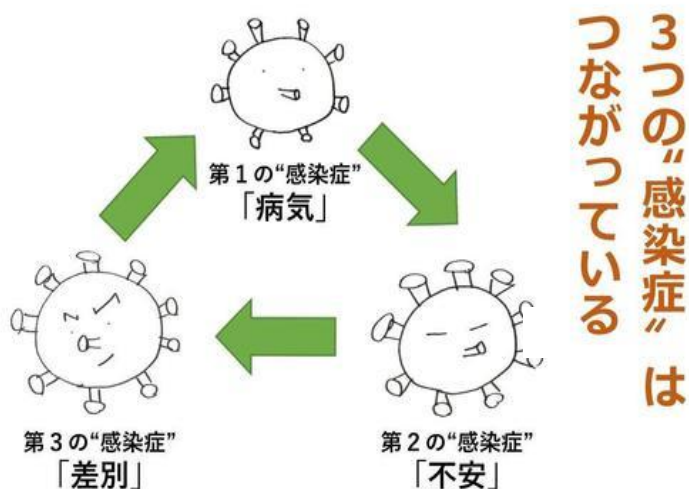
- ④特別教室の使用 音楽室や家庭科室などを必要に応じて使用します。
- ⑤職員による消毒作業 1日1回多くの児童が触れる場所を中心にして実施します。

新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう

先週から今週にかけて、各学級で「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」という心の授業を行いました。日本赤十字社が作成した新型コロナウイルス感染症の資料（下図）を、東大戸小バージョンにアレンジした久保木先生が指導を行いました。

新型コロナウイルスがもたらす第1の感染症は「病気そのもの」第2の感染症は「不安と恐れ」第3の感染症は「嫌悪・偏見・差別」についての学習です。

授業後の感想を4～6年生の子どもたちのノートからご紹介します。



3

子どもたちの感想を紹介します

4年生より

- ・手洗いうがいなどを必ずやっていきたい。
- ・不安になったらだれかに相談する。
- ・自分が気付かないで、友だちに傷つくことを言わないように気をつけたい。
- ・自分がコロナにかかってしまうかどうか不安だ。
- ・コロナウイルスで大変なのはみんな同じ。差別やいじめはしてほしくない。

5年生より

- ・不安や差別は安心できる人に相談することでやっつけられることができると知れて良かった。
- ・かかってしまった人も、なりたくてなったわけじゃないから、その人が悪いみたいになるのはおかしい。
- ・差別といじめは、もしかしたらコロナより怖いかもしれない。
- ・自分がコロナって気付かなくて、まわりの人にうつしていたら怖いから不安だ。

6年生より

- ・コロナで学校が休みになったときは不安だったから、2つめの不安は共感できた。
- ・2つ目、3つ目の顔は、精神にかかわることなんだと思った。
- ・テレビで人種差別などがあるけれど、コロナのせいで差別やいじめがあるんだと思った。
- ・東大戸小の感染予防あいいうえおの大切さに気付いた。
- ・どの3つの顔にも解決方法があって、世界中の人達ががんばれば全てをなくせると思う。

